

無断転載禁止

DOJIN

R18


成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



めぐれめぐれ

輪廻の果てへ



容量が大きすぎる為
ウェブ用に編集しています
(主に丸尾一松と十四雄の
エロシーンをカット)
ちん〇は出ませんが
元が成人向けの本の為
R18タグをつけています

流血シーンや
モブ十の描写があります

この本は
丸尾一松×黄神十四雄の
派生一十四本です
死ネタを含みます
一十四本ですが
モブ×十四松前提の
表現があります
ハッピーエンド



むかしむかし
犬を番とする
狐の妖怪がおりました

狐は犬が苦手では
ありませんが
番の犬にだけは
触れることが
出来たのです



狐と犬は人里から離れた
山奥の祠で仲睦まじく
暮らしておりました



ある日子供たちが
二匹の住処にやってきて
遊びはじめました



遊びが大好きな犬は
半妖の姿になり

まいにちまいにち
子供たちが
遊びました

はな
ん
つ

狸は犬が
子供を楽しもうと
遊ぶ姿を

ただただ
しるわせそうし...

見ていると
思いました

狸が人間に化けて
人里に油揚げを
賣りに出かけた日の
ことです

村の
あきりの「おのり」

子供が遊びに行ったまわり
帰って来ぬと噂が
□を聞えて「おのり」の
噂

帯の道で狐は山賊が
子供を連れ去る
ところを見ました

犬とよく遊んでいた
子供です





このまま見逃せば
犬が悲しむだろうと思い

狐は山賊を殺して
子供を逃がして
やりました



次の日から子供は
ひとりも遊びに
来なくまりました

犬は寂しがりましたが
これで良かったのです



それから
ひと月後...



そう自分に犬にも
言い聞かせました

狐が人里に油揚げを
買いに行った日の
ことでした

皆が口を揃えて
言うのです





十四松は平伏を
強要されただけ

あのたなごう……
三人はどことなるなんて……

十四松がなに
したってんだよ

許さない……

兄さん!!
どうどう!!

村の人たちは
悪くないよ!!

お前お人よしにも
程があるぞ……

まあまあ!

そんなぼくの
最後のわがまま
聞いてくれるう?

やめろよ
最後なんて……

あんね
一松兄さん!

ぼくね!
生まれ変わって
絶対ぜーったい

兄さんの所に
戻って来る!
だから、
それまで待ってて!!



十四松……

絶対帰って来いよ



兄さん!!



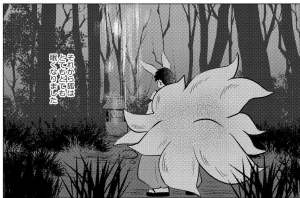


一松兄さん！
ぼく絶対約束まも



それまでおれは
「ここ」で待ってるから……





猫は自分の胸へ戻り



犬が再び自分の元へ
現れるまで
ひと眠りすること
したのです







緑日の方に
遊びに行かれてる
のかも…

ガヤ

今日は大事な祀りだと
あれほど言っておいたのに
あの子ときたら…

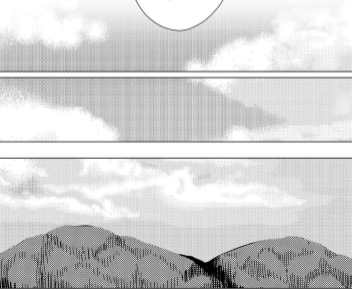
ガヤ

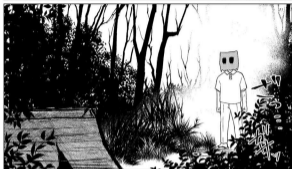
早く見つけないと

ガヤ

ここにもいない

十四松祀りが
始まってしまう







十四雄!!

んーやっぱり
今回もはずれかあ
へこみい……

また
ここにいた

あっ
はじめ兄さん!

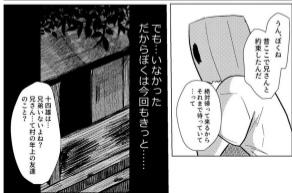


早く戻らないと
怒られるよ

家の人たち
みんなお前の
こと探してたし……

もうちょっと
したら戻るね!

……十四雄
その古い岡が
そんなに大事なの?
この前も変てな……



うん、ぼくね
昔ここで兄さんと
約束したんだ

絶対帰って来るから
それまで待っていて
……って

でも……いなかった
だからぼくは今回もきこえ……

十四雄は……
兄弟じゃないよね?
兄さん……て村の年上の友達
のこと?



一松兄さんは
本当の
兄さんじゃないよ

ぼくの
大事なひと



ないよ!

……その
一松兄さんは
十四郎の顔
見たことあるの?



じゅうしまつ?

十四郎になった
ぼくの顔が分かんない
から一松兄さんは
出てきてくれない
のかなあ?

あっ

なに……
言ってるの?



一松兄さんは
ぼくが十四郎だった時の
顔しか分かんない!



お前は!!

黄神十四雄
だろ!?

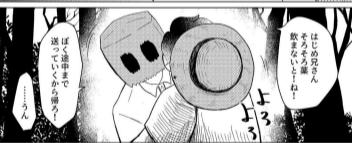
おれの
ともだちの!!



うん!! ぼくは
黄神十四雄!

はじめ兄さんの
ともだち!

ちよつと喋りすぎ
ちゃった...



はじめ兄さん
そろそろ薬
飲まないと! ね!

ぼく途中まで
送っていくから帰ろ!

.....うん



この世界に右
一松兄さんは
いながつたなあ

ただいまあ



おかえりなさい
ちようど良かった

遅くなって
ごめんなさい

今着替えて来る
から鍵を掛けて



下町...

これで俺は
自由の身だ



死ね
黄神十四雄

あ

また...

ド
ド
ド

ガッ

殺された……

ガッ





思い出した

あ



これは
ほくが「三」
なるための



儀式だ



黄神十四雄の
役目って
なんださうマ

俺じいちゃんに
聞いたことあるよ

「黄神十四雄」には
大切な役目があると

モノゴコロついた頃から
「」になるまで人前に
顔を晒してはいけない
と教わってきた









確かに!!

はじめ兄さんは
やっぱり
頭いいね!!



寂しいのは
判されるおれの
方なんだから

十四雄は泣く
必要ないよ



十四雄：
おれそろそろ
東京の病院に戻るんだ

次来るのは
たぶん夏！

来年！に
なるかも



十四雄

泣いちゃいけない

また赤ツ龍に来たら
おれと遊んでよ

十四雄

そう、はじめ兄さんと
合コンの果してから
ちうすぐ四重田の園
が来る

あれからはじめ兄さんは
赤ツ龍に来なくなつた

元々ここには静養の
為に来てたみたい
だつたし……

寂しいけど
はじめ兄さんにも
事情があるんだろっ



そして
今度も

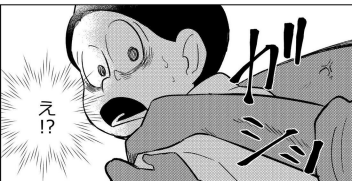
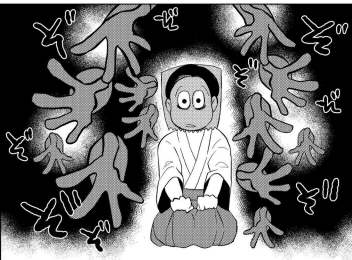
一松兄さんは
いなくなつた





十四雄
おめでとう
だよん

これでお前は
「だよん」



え!?





二人とも
始末しよう

祭りも終わりだ



はじめ死さん!!



とっ...



はじめ死さんが
死ぬ必要なんて
ない

死ぬのは
ほくだけで
良かったんだ

騒ぐんじゃねえ!!

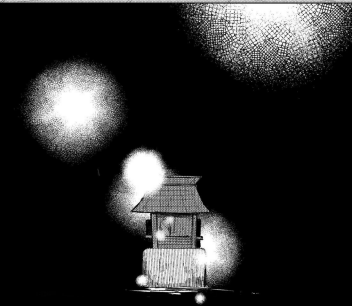


一松兄さん



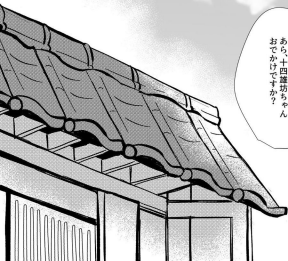
もう嫌だ...

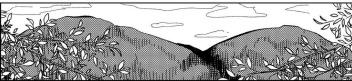
嫌だ...



「カラカラ」

あら、十四羅坊ちゃん
おでかけですか？





あの時
一松兄さんは
ほくのワガママを
聞いてくれたから

今度はほくが
兄さんとの約束を
守る番!!

だけど
一度も一松兄さん
には会えていない

何回も会いに
行ってるんだけど

もしかして



生まれ変わるのが
遅すぎて
嫌われちゃった
? ?

兄さん……

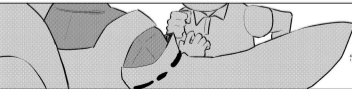


一松兄さん……

会いたいよお

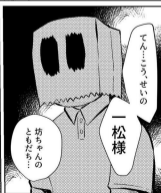








おかえり
十四松



すっげー！
一松兄さん！！

何も聞かれ
なかったし
入るの
めちゃくちゃ
簡単だった！

こんなこと
はじめて！

おれ
おれ
おれ

何言ってるの
これくらい
十四松も……って

今十四松は
人間だったね

そうだよ
妖力すっかんびん!!
ただの人間でっす!

なんでおれの所に
すぐ来なかったの？
おれ…お前のこと
ずっと祠で待って
ただけど……

行ったよ!!
でも一松兄さん
いなくて…

何回も…何回も
行ったんだけど…
本当に…



うん...
あのね





一松兄さん…

でも
もう大丈夫だから

おれがお前を
死なせない

おれが絶対
十四松を
守るから

今度こそ
おれと一緒に
生きてよ

兄さんから
またプロポーズ
されちゃったあ！



なっ…今のは
そういうつもりで
言ったんじゃない
んだけど…

えいっ

十四雄坊ちゃん
失礼します



あっ!!
待つて開けちゃダメ!!
そこで言うて!!

さようですか

そろそろ
〇〇家のお清めの
時間ですので
ご準備下さいませ

……はい
今行きます

ではしばらくしたら
溜文の者が来ます
ので…

フウフウ

ばっ

兄さん!!
ぼくお仕事して
きやす!!

仕事って
なに?

えと…お蔵い
みたいなの? ぼくだけしか
出来ないやつう?

ふうん?





昔ね、この地域の
守り神だった妖怪の
番を黄神家の先祖が



退治しちゃった
んだって……

怒った守り神様は
村人の生気を
喰い荒らすように
なってる



村の人たちは守り神様の
怒りを鎮める為に年に
一度お祭りを開いてる
んだけど！

守り神様がお祭りで
満足しなかった分は
不定期に村の人の
生気を吸い取りにきて

その吸い取られた生気を
取り戻す為に
ぼくが一年かけて
「お清め」してる……ことに
なってる……

ちよっと
待って



その守り神様って
おれのことじゃない？

そして退治された
番の妖怪がお前

あー！

そうだね！！



なんで
いつの間に
おれのせいに
されてんの？

おれ……お前に
力分け与えた後
体動かなくて
しばらく祠で
寝てたんだけど





おれは人間の生気
おんが噴き荒らして
ないし!

十四松を自分たちの
都合で殺しておいて
今度はおれを鎮める
祭り?

勝手にも
程があるだろ



おれの十四松を
好き勝手に
しやがって...

この村の人間は
クズしか
いなえのか

あゝ
ほくも今は
そのクズな人間の
一員!
なんちゃって!



十四雄

お前は別だよ

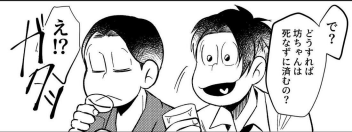
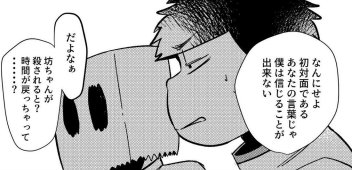


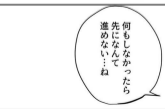
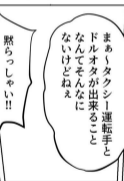
めぐれめ
輪廻
の





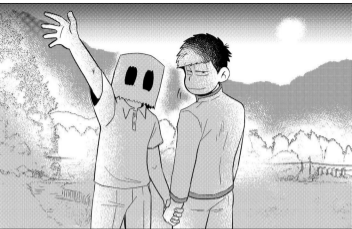




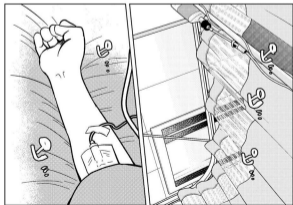
















ガタ
ブーン

ガタ
ブーン



ガタ
ブーン
赤シ鹿
赤シ鹿

ガタ
ブーン



やっとなにか
大分長く
乗っていたな

ブーン

ブーン

ガタン



申し遅れた
オレは記者なんだ
先日俺宛てに匿名で
手紙が送られて来た

つまりこれは俺しか
知り得ない情報!!
あの謎多き
黄神家のことだ

本当なら間違いない
大スクープになる
だろう!!

鹿ッ赤

おーっと
着いたようだな

君!!

どういうことだ!?

待ってくれ!!
話が聞きたい!!

それ!

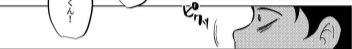
あながち間違った
情報でもないかもね

でも記事にするのは
止めておいた方が
身のためかもよ



よっ坊ちゃん

大蔵くん!



え?

十四雄?

14084



はじめ…兄さん?

アハハハ

アハハ



なんで……!!

十四雄!

この村から
出よう!!

そうすれば
十四雄は殺されずに
済むかもしれな……



はじめ
兄さん!?



もしかして
前の記憶が
あるの……?

ああ……
覚えてるよ

十四雄……
おれ、もう……
黒くないんだ……

せめて!お前をたすけ
……たいっ……

は
は
は
……

村にいれば…
十四雄は必ず殺される

なら村から
十四雄を出せば良い

待って!!
連れ出し
たからって

十四雄くんが助かるか
どうか分かんない
でしょ!!?

分からなくても
なにもしないよりは
マシ…だろ!!

あんた達は
全然覚えてない
んでしょ?

おれは今回記憶が
残ってるけど
次は記憶が残らない
かもしれない…

だから…

せめて十四雄のこと…
覚えてるうちに
助けたいんだよ…っ

たすけ… たすけ
たいの… たすけ

はじめ兄さん!!
病院に行こう!!





そいつに
生きて欲しいの？



うん！！

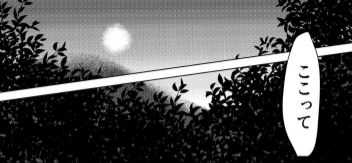


ぼく…
はじめ兄さんを
死なせたくない！！



ちよっと
みんな

おれに
ついて来て







おれは人間の病気を
完治させたり
寿命をのばすことは
出来ない

だけど、おれが
お前に取り憑いて
肉体を保持させる
ことは出来る



ほほう
まるで
夢物語な話だ

でも
現実なんだ
よなあ……

おれはそれで
生きることが
出来るの？



おれの妖力で

紫坂はじめの
肉体は死なない

でも取り憑いた後
今のお前の生命力で
目撃を偽てるかは
おれには分からない

そして



取り憑く人間と
おれの「型」が
合わないや
おれも死ぬ

これは
一か八かの駆け

おれ次第……
ってことかよ

そうだね

妖怪なんて
信じられなかった

怪現象なんて
右のほうはま

この世には
存在しない
と思ってた

でも
目の前に存在
されたら

信じることが
ないよな……



十四雄を
護れるなら

分かった！
それで良い！

取り憑けよ
九尾の狐

クッ
おれは
どうな
構わない

その潔さ

嫌いじゃないよ
紫坂はじめ



十四雄
強いよね

やるよ



本気で……
殺すのか？



うん!!



いっばい
やまうしやうね!!



はじめ兄さん!!

はじめ兄さん?
はじめ兄さん
返事して!

やくそく

ふら







はじめ…
眠ってる

大丈夫だよ

十四松



早く見つけろ!!

美神十四郎は
ここだ!!

探せ探せ!!

さっ…さっ…



は——

やっとな蘭に
なってくれたよ

いちまっちゃん

まさか教授の息子に
取り憑くなんてな

俺も想定外
だったけどお

あとは俺に
任せとけてま

大仕事

最後の

ダメだ
ちっちゃん
開けてらんぞ……

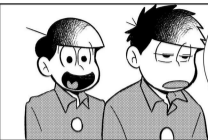


長男舐めんなよ!!









十四松
おれたちも…

タタタタ
タタタタ
タタタタ



ぼくを護ってくれて
ありがとう!!

ボキ



一松兄さん!

タタ



何度でも
めぐり会えるんだね

ぼくたち



そうだね



十四松



おれのとこに
帰って来てくれて

ありがとう

